第８回町田市文化財保護審議会会議録

１．開催日時：２０２５年5月２０日（火）　午前１０時００分～１１時００分

２．開催場所：町田市役所本庁舎５階　５－４会議室

３．出席者

委員　阿諏訪、石居、大野、浜田、八木橋

事務局　中村生涯学習部長、西久保生涯学習総務課長、杉本係長、坂本係長、
松崎主任、後藤主任、大塚主事、佐久間主事、本間主事

４．報告事項

①２０２５年度当初予算について

②「町田市教育プラン」重点事業の点検及び評価
（２０２４年度分）について

③町田市登録文化財紹介パネル展「成瀬を見守る天狗型道祖神」の実施結果について

④第３２期町田市文化財保護審議会のまとめについて

５．その他

①第３３期文化財保護審議会第１回会議について（８月予定）

会　長　おはようございます。今日は第３２期文化財保護審議会の最終回の会議になります。よろしくお願いします。

まず、会議に先立ちまして、４月の人事異動で事務局のメンバーが変更となりましたので、事務局から紹介をお願いいたします。

事務局　（事務局紹介）

■報告事項

会　長　それでは議事に進みたいと思います。今日は報告事項が中心になります。

まず、事務局から報告事項について説明をお願いいたします。

事務局　資料１－１を御覧ください。本日、報告事項は４点ございます。

まず、報告事項の１の２０２５年度の当初予算について御報告させていただきま

す。資料１－２を御覧いただけますでしょうか。

資料１－２に、今年度の予算概要説明書の生涯学習部の部分の社会教育総務費が記載されておりまして、そちらの概要を御説明いたします。社会教育総務費ですけれども、町田市の文化財の保護ですとか整備、維持、管理、公開や活用といった事業に対する予算になっております。今年度の予算額は４５６４万５０００円となっておりまして、昨年度、２０２４年度と比較しますと約７３０万円の減少となっております。

減少の要因としましては、昨年度まで実施していた高ヶ坂石器時代遺跡の整備事業が完了したということもありますが、市の財政的に厳しい状況が続いておりまして、どうしても慎重な予算編成を求められているところから、なかなか予算がつきづらい状況がございます。文化財の保護、活用に当たりましても、いろいろな老朽化ですとか、メンテナンスの必要性がある文化財や施設はありますが、どうしても優先順位をつけて、対象を絞って順次実施していくというような対応をしていかざるを得ないような状況になっております。

今年度の主な取組なのですが、資料の中ほど、２０２５年度の取り組みといったところ以降に記載しておりますが、①、②、③と３点記載しております。

まず、①ですが、こちらは町田市所有の国の重要文化財、旧永井家住宅の耐震対策の実施に向けまして、耐震基礎診断を実施します。こちらについては、実は昨年度にも予算を取って実施する予定ということでお伝えしていましたが、昨年の当初に文化庁から地盤調査の工法を、当初予定していたものにさらに項目を追加して実施するようにという指示があったため、契約予定の事業者さんに再度見積り依頼をしましたところ、予算額を２００万ほどオーバーするような状況が判明いたしまして、そういったところの財源確保の調整などを試みたのですが、予算をつけようとすると、今度は契約予定者の事業所さんのスケジュールが合わないというところで、年度内に後ろ倒しで実施するのが難しいということでしたので、やむなく昨年度の実施を見送りまして、再度、今年度確実に実施するということで予算を計上しております。こちらは耐震診断の委託料なのですが、予算額としては１５２９万円を計上しております。

そして、民有文化財については東京都史跡の相原町にございます青木家屋敷、こちらの構成要素でありますオチャバという小屋について、こちらが長年の雨風の影

響などで、かなり小屋の劣化、傾斜が進んでしまっておりまして、崩落の可能性、危険性が非常に高いということで、一番優先度が高いものとして、今年度、応急対策を含め必要な修繕を実施する予定でおります。

そのほか、経常の埋蔵文化財の調査の実施や、無形民俗文化財の所管団体への活動経費の助成、あと各種、古民家や遺跡等を所管している文化財の管理委託に係る費用を計上しております。

続いて、取り組みの②ですが、前年度に引き続き、デジタルコンテンツの作成、公開、活用やイベントを実施してまいります。

③は考古資料室についてですが、適切な維持管理と、特別開室やアウトリーチ事業を本年度も実施していく旨を記載しております。

下段の主な事業費については、２０２５年度の取組に記載した事項について関連する費用を記載しております。

一番下のところ、主な特定財源、旧永井家住宅耐震事業や青木家のオチャバ修繕、埋蔵文化財の調査につきましては、国庫補助、東京都の補助金がついておりますので、その見込み額を記載しております。

社会教育総務費については以上になりまして、裏面に自由民権資料館費の概要がございますので、簡単に御説明させていただきます。

事務局　裏面の自由民権資料館費の御説明をさせていただきます。

予算額は、２０２５年度が２１９７万８０００円と、２０２４年度と比べまして多少増額している状況になります。その要因は、２０２４年度に収蔵庫と展示室のＩＰＭの委託をやらせていただき、ある程度落ち着いてきたというところです。それから、資料館の周りの樹木を相当剪定して、今まで手を入れられなかった箇所を多少、お金をかけて切ることができましたので、その分が増えているという形になります。

事業の内容の欄ですが、まず１番目の今年の事業の内容については、町田市の自由民権運動を紹介する常設展は今までどおり展示をさせていただきまして、企画展と、三輪の森ビジターセンターの中の展示、民俗資料の紹介をさせていただいております。

あとは、町田の歴史及び自由民権運動に関する資料の収集、保存・整理を行うということで、引き続き、同じように整理を行っていきます。

３番目ですが、町田の歴史を知ることができる「まち歴講座」と、市内の小中学校において歴史を紹介する出張歴史授業に力を入れさせていただいております。

2025年度の取り組みとしまして、先ほど御紹介しました資料館の企画展「町田とお殿さま」という企画を予定しております。また、重要史料群としまして、４家の史料の整備を進めさせていただいているのですが、その中の史料も使うような予定になっています。

民俗資料の展示としましては、「竹を編む」ということで、小野路のメカイの製作技術を御紹介したいと思っております。

３番目を御覧ください。「まち歴講座」として、考古、民俗、歴史資料を活用した講座と歴史の展示、それから、なるべくいろんな場所、市民の方に近場で見ていただけるところを目指して、アウトリーチも進めていきます。

町田の歴史を学ぶための小中学校向けの出張授業も、小中学校から御依頼を受けているような状況でして、それもデジタル映像を作ったりしながら、なるべく分かりやすいような出張授業を心がけていきます。

主な事業費ですが、委託料、印刷製本費、保存に使われる中性紙の作成委託料、それから、外部講師をお願いするような講師謝礼が主な事業費となっております。

最後に特定財源ですが、図書の販売と講演会の参加費用が収入として入ってきております。

説明は以上になります。

事務局　続いて、報告事項の２も御説明をさせていただければと思います。

報告事項２は、「町田市教育プラン」重点事業の点検及び評価についてということで、昨年度の取組状況等を御報告させていただきたいと思います。

こちらの点検評価は、最終的には教育委員会で行うものでして、最終的な結果というのは出ていないのですが、担当課ごとの事業実績の案はまとまっておりますので、今回はそちらをお出ししまして、事業の部分について御報告をさせていただきます。

資料１－３を御覧いただければと思います。文化財関連で、生涯学習総務課のほうで担当している事業は２つございます。重点事業の１４番というところは、「まちだの歴史・文化を学ぶ機会の充実」、もう１つは、重点事業３２、「まちだの歴史・文化資源の保存と活用環境の整備」というものになっております。それぞれの

取組状況、指標の達成状況等について、こちらも簡単に御説明いたします。

事務局　番号１４の①の小中学校向けプログラム件数というところを御覧ください。小中学生向けのプログラムとして、もともとプログラムがあったのですが、そのプログラムの見直しと、施設見学プログラムと遺跡等見学プログラムというのを新たに加えて学校に御紹介をして授業を進めました。

３つのプログラムを合わせまして４９回実施をさせていただいて、子どもたちが町田の歴史に触れる機会を増やしました。

課題ですが、小中学生向けのプログラムについて、より多くの学校で利用してもらえるように、学校への周知が必要です。

今後の取組ですが、内容の見直しをその都度進め、学校への周知を進めていきます。

②の新規アウトリーチ事業件数ですが、２０２４年度実績ですと６件になります。新規アウトリーチ事業について、多くの方に町田の歴史に興味を持っていただけるよう、様々な会場で実施しました。

課題としましては、新しいアウトリーチ事業の企画、内容を見直す必要があると考えております。

今後の取組としましては、新しい視点でより多くの市民の方に参加していただけるようなアウトリーチ事業や展示を実施していきます。

事務局　重点事業３２、「まちだの歴史・文化資源の保存と活用環境の整備」の①の活動指標ですが、こちらは町田デジタルミュージアムの更新回数が指標になっておりまして、２０２５年度と２０２８年度にそれぞれ更新を行うというような目標になっております。デジタルミュージアムも公開からしばらくたちまして、利用状況や他市の状況などから、より使っていただきやすいものに更新していこうというところから、こういった指標になっています。２０２４年度については、業者さんと打合せ等をさせていただきまして、他の自治体の状況など、どのように使われているかというところの聞き取りなどをさせていただきました。また、担当内でどのようにやっていきたいかというような打合せなどを数回実施したところでございます。

課題としましては、より幅広い世代の学習・研究ツールとして使っていただけるように、さらに展示する件数を増やす、使いやすいような画面表示にするというところをもう少し詰めて充実していく必要があります。

今後の取組の方向性としては、もう少し実施する方針を詰めまして、公開内容の更新を行っていきます。

事務局　３２の②を御覧ください。歴史を学ぶデジタルコンテンツ件数ということで、実績は６件になります。どんなものかといいますと、講演録とか、企画展のデジタル化とか、図録などを作成させていただいております。そのほかに、小学校の授業で使える動画の作成も行っております。

課題としましては、多くの方に見ていただけるコンテンツをこれからも企画して、作成していく必要があるということと、町田の歴史に触れる機会の充実と文化財の活用のため、引き続きデジタル化を進めていきたいと考えております。

③の重要史料の整理率を御覧ください。２０２４年度実績で６２．６％となりまして、今の予定ですと、２０２９年度に全て完了させる予定でおります。

取組としましては、今回、２０２４年度の「回セ！地域経済」という企画展があったのですが、そちらのほうにもこちらの重要史料群の史料を使用して企画展をさせていただきました。

課題ですが、なかなか重要資料群の整理に回す時間が取れない状況でして、その時間の確保が課題となっています。

最後ですが、２０２９年度の整理完了を目指して今後も進めていきます。

事務局　報告事項の２までは、以上になります。

委員の皆様から御質問や、御意見等がありましたら、お願いいたします。

会　長　取りあえず一旦、（２）までの報告で何か御意見、御質問があればお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

委　員　１－３の小中学校向けプログラム件数で４９回実施をされたということですが、これは学校のカバー率というか、学校数でいうとどれぐらいの割合になるのかというのをイメージできるとありがたいのですけれども、お分かりになりますでしょうか。

事務局　約３分の１強ぐらいはカバーしていると思っています。もちろん、１校で複数回申込みをしてくださる学校もございまして、内容は違うのですけれども、複数回伺っている小中学校もございます。

委　員　これは学校ごとに内容も調整して進められるのですか。それともかなりパッケージ化されたものをどこの学校でもされるという感じなのでしょうか。

事務局　学校の要望次第にはなるのですが、意外に事細かく学校の先生と打合せをさせていただいて、一つ一つオーダーメイド的な授業をさせていただくということになります。

事務局　今年ちょっとイレギュラーだったのは南成瀬小学校で、３学期を全部研究授業に持っていくための授業で使いたいので、その中で４回来てほしいというふうに言われて、町田市になってから現在までの変遷みたいなものを暮らしとか、インフラ的なこととか、ジャンル分けして４回に分けて話をするというものもありました。

それは多分、普通のカリキュラムのつくり方と違っていたこともあってイレギュラーだったのだと思うのですけれども、そういう感じで、特に歴史のほうだとオーダーメイドな感じの講座になりがちなところはあります。

委　員　ありがとうございます。

会　長　ほかに御質問、御意見はございますか。

委　員　質問とか意見というわけではないのですが、今日の御報告いただいた資料１－２の２枚目のところにも出てくるのですが、２０２５年度の取り組みの①に出てまいりますメカイ製作技術に関して、御報告を私のほうからさせていただきたいと思います。

これは保存会ができておりまして、事業の継続、あるいは円滑な運用に対してやはりいろいろとお金がかかるということで、明治安田生命の文化財団さんのほうに助成の依頼の申請を教育委員会を通してやらせていただきました。満額とはいかなかったのですが、一応３０万円ほど助成を頂けることになりまして、私が推薦状を、つたない文章を書かせていただいたのですけれども、連絡があって、来月、授与式みたいなものを明治安田のほうでやるから来てくれというので、行ってくる予定です。

明治安田生命の文化財団のほうでは、かなり多くの民俗芸能、あるいは伝統技術に関する助成をやっておりまして、たしか獅子頭の修繕もあったと思うので、ぜひ出したらいかがかと思います。推薦状は書きますので、積極的にこの手のものは活用していったほうが皆さんもありがたいことですし、市としても外から助成を頂けるのは結構なことではないかと思いますので、そうしたものも、今後また継続的にうまく活用できればというので、一応御報告ということで私のほうからさせていただきます。

何か補足があれば、お願いいたします。

事務局　私自身はメカイの保存会に会員として入らせていただいて、今いろいろ勉強しているところなのです。そこからお金がないといろいろと広報もできないということで相談を受けておりまして、明治安田クオリティオブライフ文化財団というところがありましたので、八木橋先生に御相談をさせていただいて推薦状を書いていただきました。４０万が上限で、少しデジタル関係がはねられてしまったのですけれども、ほぼお金がついたということで保存会のほうでも喜んで、この７月にまた一般の人向けにワークショップをやる予定でして、そこでいろんな道具が買えると喜んでおりました。ぜひ今後もそういう外の補助金を使って文化財を盛り上げていければと思います。ありがとうございます。

会　長　民間の財団では幾つか博物館とか学芸員に対しての研究助成制度がありますので、それをうまく活用するといいと思います。

私も実は、具体名称は言えないのですけれども、審査員をやっていまして、私のところは上限を５０万円出していますので、そういうところもぜひ活用してもらえたたらと思います。

ほかに御質問、御意見はございますか。

委　員　意見というか、質問というわけではなくて、今おっしゃった２０２５年度の取り組みの中に、企画展「町田とお殿さま」の開催を予定しているとあって、多分、横浜の博物館でも、来年かな、領主の話をするというような企画展を計画していますので、年度は違ってしまいますけれども、横浜市の北部と町田って、大体文化圏は一緒なので、連携のようなことをさせていただければと思いました。

あと、今教えていただいたメカイのワークショップなんかも、ぜひうちのほうも来ていただければと思っています。よろしくお願いします。

会　長　この件に対して、何か事務局から御意見はございますか。今後の協議ということでよろしいでしょうか。

事務局　ありがとうございます。ぜひ検討させていただければと思っております。

会　長　あと、私のほうから細かい点ですが、２点ほどよろしいでしょうか。

今年度予算の社会教育総務費の中に考古資料室の事業が明記されているのですが、これに対しての予算というのは具体的にどういう形になっているのでしょうか。少額なので、具体的に下の事業費に出てこないのかとは思うのですが。

事務局　実際の建物の管理費などは、きちんと計上しておりまして、この③防草シート設置工事費というのが、今回、考古資料室で割と大きめの金額でしたので、こちらを載せています。草刈りがなかなか大変なところがございまして、一定期間、草刈りをしなくてもいいように防草シートを張って、経費削減に取り組みたいというところで載せさせていただいております。

それ以外は、基本的には経常経費の部分です。例年度並みの施設管理ですとか、施設の点検にかかるような費用になります。

会　長　分かりました。管理経費はつくということですね。

それからもう１点、教育プランの関係でデジタルミュージアムに関して、他の自治体の調査等も行ったという御報告があったのですが、具体的にどの辺りを調査されたか、もし分かれば教えていただけたらと思います。

事務局　町田デジタルミュージアムがＡＤＥＡＣさんのほうのシステムを利用させていただいておりますので、ちょっと自治体名がぱっと出てこないのですけれども、そちらで町田市より後に始められたような自治体の状況をお伺いしたような形ですね。

会　長　分かりました。ありがとうございます。

事務局　各自治体いろいろ、子ども向けの親しみやすいようなつくりにしているところもかなり多いということだったので、そういったところも参考にできるといいのではないかとは考えております。

会　長　新しく施行しているところを中心に調査されたということですね。

事務局　そうですね。

会　長　分かりました。

そのほかに質問等はございますか。

委　員　重要史料群の整理の話は、１－３の資料の３２の③に出ていて、課題として、整理を進める時間の確保が課題であるというお話があったのですけれども、これは例えば、古文書を読む会議であったり、ボランティアの方の定期交流、あるいは史料整理の方、アルバイトさんを雇うとか、そういうことはできないのですか。

事務局　大学の先生と学生有志で来ていただいて、ボランティアでやっていただいたりしているのと、あとは、微々たるものですけれども、調査員で整理に関わってもらったりということはあるのですけれども、それでも追いついていない、目標ぎりぎ

りというような状態なので、どうにか我々スタッフのほうが少し時間を取らなければならないということで、ここに書かせていただきました。

市民の方で解読をお願いしているというのはあるのですけれども、整理となると、どうしてもルールを一本化してやるのにもう１回調整が必要になってしまうということがあるので、解読はしてもらっているのですが、整理のほうには、市民には関わってもらっていないという状態になっています。

委　員　ありがとうございます。

委　員　今の資料１－３のところの、番号でいうと上の１４番の下の段なのですけれども、相模原市との共催の考古学講座というのは、別のところにも出てきますよね。先ほどのお話にもあったように、横浜との連携とか、いろいろとうまくつながりをつくって今後やっていくというのが大事なのかなと、実は思っておりまして、そういう中で、最後に出てくる川崎市での出張講座というのは一体どういうことをやられたのか教えていただければと思って質問させていただきました。

事務局　川崎市の生涯学習センターのようなところの講座で講師依頼を受けて行ってきたということになります。自由民権運動の連続講座だったのですけれども、そのうちの１回と、あとは資料館のほうに見学に来ていただいたということです。

委　員　市民アカデミーですか。

事務局　そうです。市民アカデミーですね。

委　員　ありがとうございます。

会　長　ほかに何かございますか。よろしいでしょうか。

続きまして、（３）と（４）の報告について、お願いいたします。

事務局　続きまして、報告事項の３になります。町田市登録文化財紹介パネル展「成瀬を見守る天狗型道祖神」の実施結果についてです。

事務局　それでは、町田市登録文化財紹介パネル展について説明をさせていただきます。

こちらは、これまで文化財保護審議会で審議をさせていただいて、昨年度３月に町田市の登録文化財になりました天狗型道祖神について、地域の皆さんに知っていただきたいということを兼ねて、４月２８日から５月９日のゴールデンウィーク中の１２日間で、成瀬コミュニティセンターというところで開催いたしました。

この開催期間中は、このコミュニティセンターは無休で朝の９時から夜の１０時

まで開いているところということで、１２日間、多くの人に見ていただきました。

成瀬コミュニティセンター１階の壁面を使わせていただいて、真っ白なとてもきれいな壁面で、テーブルが置いてあり、多くの方の憩いの場になっていて、ついでに見ていただきました。

「広報まちだ」の４月１日号にも掲載しました。あとは、毎日新聞とタウンニュースという地域情報紙、読売新聞でも取り上げていただきまして、それを見た方々も多くいらっしゃったというふうに現地の職員には聞いております。

成瀬コミュニティセンターのほうでは、入場者数は特にカウントはしていないのですけれども、職員に聞きますと、毎日大体１５人から２０人ぐらいは、どこにあるのかと、所在地の問合せなどをよくいただいたと聞いております。こちらのほうにも電話で、どういうところというふうに聞かれたお問合せが多くありました。

今回は、この天狗型道祖神の存在を知っていただくというものでしたので、細かいところはかなりはしょってはありますけれども、地域の方々にもかなり見ていただいて、こんなのがあったんだという感想をいただいたので、一応目的としてはうまくいったかというふうには思っております。

この先、まだまだ調べることはたくさんあるかと思いますので、これを知っていただいた地域の方々からまたいろんなことを聞き書きさせていただいて、できれば指定文化財等に進められればなと思っております。

報告は以上になります。

事務局　続きまして、報告事項の４も併せて説明させていただきます。

第３２期町田市文化財保護審議会のまとめについてということですが、本日で第３２期の審議会は最後になります。今期は主に２０１５年から２０１８年に実施しました市内の石造物の悉皆調査の結果のほうから、成瀬地区にある３体の天狗型道祖神について御審議をいただきました。

資料が少ないなど、所有権とか管理の関係で課題もありましたけれども、最終的に御答申いただきまして、市の登録有形民俗文化財に、無事登録に至ることができました。ありがとうございました。

検討の過程では、特に浜田会長には、とても暑い時期に、虫も多い時期だったのですけれども、３体の状況を現地のほうまで改めて御確認に一緒に行っていただくなど、御足労もいただきまして、御協力ありがとうございました。

答申に際しては、第７回会議は急遽、書面会議にさせていただくなど、ちょっとばたばたした面もありまして、申し訳ありませんでした。皆様にはお忙しい中、御協力いただきまして、ありがとうございました。

そのほか、今期中は２０２３年度に妙福寺の本堂の屋根のふき替え、青木家屋敷の屋根の修繕、あと、天然記念物のアカガシ群落のナラ枯れ対策、また、メカイの団体さんへの助成の推薦状の作成など、委員の皆様には会議以外でも大変お世話になりました。どうもありがとうございました。

報告事項としては以上になります。

会　長　ありがとうございました。

ただいまの報告２件の中で、何か御質問、御意見があればお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

天狗型道祖神という珍しい道祖神が市内にあるということを市民の方に知っていただけたというのは大変ありがたいことであると思っております。その新聞記事がもし残されていれば、後でちょっと見せていただけたらと思いますが、マスコミのＰＲもかなり効果が大きいと思いますので、それを通じて知ってもらえたら、よりいいかと考えます。

それから、これは特に記録することでもないとは思うのですが、今回の天狗型道祖神の登録もそうなのですが、町田の道祖神全体のことを担当された佐久間さんに、１０月に日本石仏協会の例会で御報告いただくという、内諾をいただきましたので、関心のある方は、いずれ告知がされると思いますけれども、参加していただけるとありがたいと思っております。そういうことで、専門家にもより広く知ってもらう機会をつくっていけたらというふうに思っております。

ほかの皆さんからはいかがでしょうか。何か、今期２年間の内容に関してでも結構ですが、登録を含めて何か御意見をいただけたらと思います。

委　員　１点だけ、すみません。今さらなのですが、一番最後の資料の「文化財ってなに？」というところの上から４行目のところに、「町田市では１９６０年に『町田市文化財保護条例』を制定し」とあるのですけれども、これはかなり早い時期だと思うのですが、その背景みたいなものが、もし分かれば教えていただければと思います。昭和３５年というと、かなり早い時期で。

会　長　文化財保護法がその１０年前ですからね。

委　員　川崎市が１年前で、横浜市は、たしか昭和の終わりぐらいですよね。全国的に見ても、景観法とかをやっているところでも文化財保護条例を持っていない町というのは今でもたくさんあって、市でこれだけ早い時期に整備したというのは、恐らく遺跡関係のほうが川崎と同じように何かしろということだったのかもしれませんけれども、制度としてかなりこれは早い時期なので、すごく重要なことだし、誇るべきことかと思います。その辺もやはりぜひ誇りにしてもらったらいいと思います。

事務局　ありがとうございます。

委　員　この道祖神のパネルは、１２日間展示されたとおっしゃっていましたけれども、もうちょっとほかの場所でも、頼めば、郵便局とか銀行とかで、１週間ずつとか。公民館とか、多分、いけると思うのです。せっかく作ったので、もったいないと思うので。

事務局　検討します。ありがとうございます。

委　員　１つ教えてほしいのですけれども、この写真は撮られた……。

事務局　私が。

委　員　上手ですね。

事務局　どうしても横顔を撮りたくて。

委　員　ちょうどこれは正面から見るよりも天狗らしく見えて、手前のところもそうですけれども、ここにちゃんと「武州成瀬」という文字もピントがちゃんと合っているので、あっ、上手に撮れているなと、送っていただいてから思っておりまして。

会　長　私もそう思いました。上手に写真が撮れているなと。こちらのパネルの写真もそうですけれども、いい写真だと思います。

　ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

■その他

会長　　本日は報告事項が中心ということですが、最後に、その他ということが議題としてあります。今期のこともありますが、次期の会議のことも含めて事務局から、その他について、説明をお願いしたいと思います。

事務局　今会議で第３２期の文化財保護審議会は終了となります。本当に皆様、どうもありがとうございました。

今期をもって、大野委員と、それから本日御欠席ですが、内野委員のお２人が退任という形になります。

内野委員におかれましては、本日、スケジュールの関係で御欠席ですが、１０期２０年にわたりまして、市内の天然記念物に関して多くの御助言をいただいて、足を運んでいただき、いろいろ見ていただいて御助言をいただいております。本当にありがとうございました。

そして、大野委員につきましては、１３期２６年、務めていただきました。長きにわたって関わっていただきまして、本当にありがとうございます。特に青木家屋敷、こちらはかなり見ていただいて、御助言をいただいた部分になります。それ以外にも町田市内の建造物の修繕、保全に当たりまして多くの御助言をいただきまして、誠にありがとうございました。今後も市の文化財について御相談させていただくことがあると思いますので、どうぞその際は、よろしくお願いいたします。本当にありがとうございます。

次期の第３３期のことについてなんですが、文化財保護審議会委員の委嘱につきまして、浜田先生をはじめ、残っていただく方につきましては、先日、５月９日の教育委員会定例会で７名の委員の方に委嘱をするということが承認されましたので、御報告いたします。

内野先生の後任としては、パルテノン多摩の学芸員の仙仁径先生といいまして、自然史の関係の方になります。

また、大野先生の後任としては、東京家政学院大学助教授の青柳由佳先生に、古民家ですとか、そういった関係をされているという先生にお引き受けいただけることになりました。

次期の課題としては、また新たに指定するものですとか、登録にできないかとか、何か候補について御検討いただくことになると思います。

引き続き残ります先生方については、よろしくお願いいたします。

報告は以上になります。

会長　ありがとうございました。以上で議事内容はすべて終了となりますが、最後に委員の皆さん、あるいは事務局から何かございますか。よろしいでしょうか。

そうしましたら、これを持ちまして第３２期文化財保護審議会第８回会議を終了といたします。

《配付資料》

１－１　報告事項

１－２　令和７年度（２０２５年度）予算概要説明書　部別予算概要説明書（抜粋）

１－３　２０２４年度町田市教育プラン２４－２８点検評価案

チラシ　パネル展「成瀬を見守る天狗型道祖神」

〇国指定史跡高ヶ坂石器時代遺跡　整備事業報告書